

令和元年

火災・救急・救助統計

瀬戸市消防本部

火災

出火件数は38件でした。火災種別で見ますと、建物火災が20件、車両火災が3件、林野火災が0件、その他火災が15件でした。

火災による死者数は0人でした。また、火災による負傷者数は9人で、火災種別で見ますと、建物火災が8人、車両火災が1人となっています。

出火件数の38件を出火原因別で見ますと、「放火・放火の疑い」が7件(18.4%)、「たばこ」が5件(13.2%)、「たき火」「ストーブ」「溶接機」「取灰」が各2件(5.3%)の順となっています。

出火件数が多い連区は、本地連区が6件(15.8%)、下品野連区が5件(13.2%)、水野連区、品野連区が各4件(10.5%)、萩山台連区、山口連区、菱野連区が各3件(7.9%)の順となっています。

火災の傾向としては、建物火災の発生が多く、それに伴い焼損面積及び損害額が多くなりました。

1 火災発生状況

全火災38件を月別にみますと、次表のとおりです。

区分 月別	出火件数						焼損棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者(人)		
	計	建物	住宅	林野	車両	その他		建物(m ²)	林野(a)		死者	住宅	負傷者
1月	5	2	1	0	2	1	4	28	0	2,125	0	0	3
2月	5	2	2	0	1	2	2	15	0	209	0	0	2
3月	3	2	2	0	0	1	3	2	0	248	0	0	1
4月	5	1	1	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	2	1	0	0	0	5	105	0	7,092	0	0	1
7月	2	1	1	0	0	1	5	119	0	34,249	0	0	0
8月	4	2	0	0	0	2	3	556	0	63,539	0	0	0
9月	3	2	0	0	0	1	2	1	0	68	0	0	0
10月	4	3	1	0	0	1	3	18	0	360	0	0	0
11月	3	2	0	0	0	1	3	386	0	22,471	0	0	2
12月	1	1	0	0	0	0	1	0	0	395	0	0	0
合計	38	20	9	0	3	15	32	1,230	0	130,757	0	0	9
平成30年	40	14	8	1	5	20	19	800	19	109,981	2	1	4

※その他火災とは、建物・林野・車両・船舶及び航空機の各火災種別に該当しない火災

2 連区別火災発生状況

全火災 38 件を連区別にみますと、次表のとおりです。

連区別 区分	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷	
建物	20	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	5	2	4	1	0	
林野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
その他	15	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	3	0	3	0	0	1	2	1	
合計	38	1	2	0	0	1	1	1	1	1	4	0	1	3	0	4	5	3	6	3	1	

3 出火原因別火災発生状況

全火災 38 件を出火原因別にみますと、次表のとおりです。

原因別	件数	構成比(%)	前年比
放火・放火の疑い	7	18.4	4
たばこ	5	13.2	2
たき火	2	5.3	-5
ストーブ	2	5.3	-2
溶接機	2	5.3	2
取灰	2	5.3	2
こんろ	1	2.6	0
不明	4	10.5	2
その他	13	34.2	-7
合計	38	100.0	-2

※端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合があります。

4 初期消火の実施状況

全火災 38 件を初期消火別にみますと、次表のとおりです。

区分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初期消火の種類				実施率(%) (B)/(A)	平成30年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	20	11	2	2	6	1	55.0	57.1
林野火災	0	0	0	0	0	0	—	100.0
車両火災	3	1	1	0	0	0	33.3	60.0
その他火災	15	8	1	1	3	3	53.3	75.0
合計	38	20	4	3	9	4	52.6	67.5

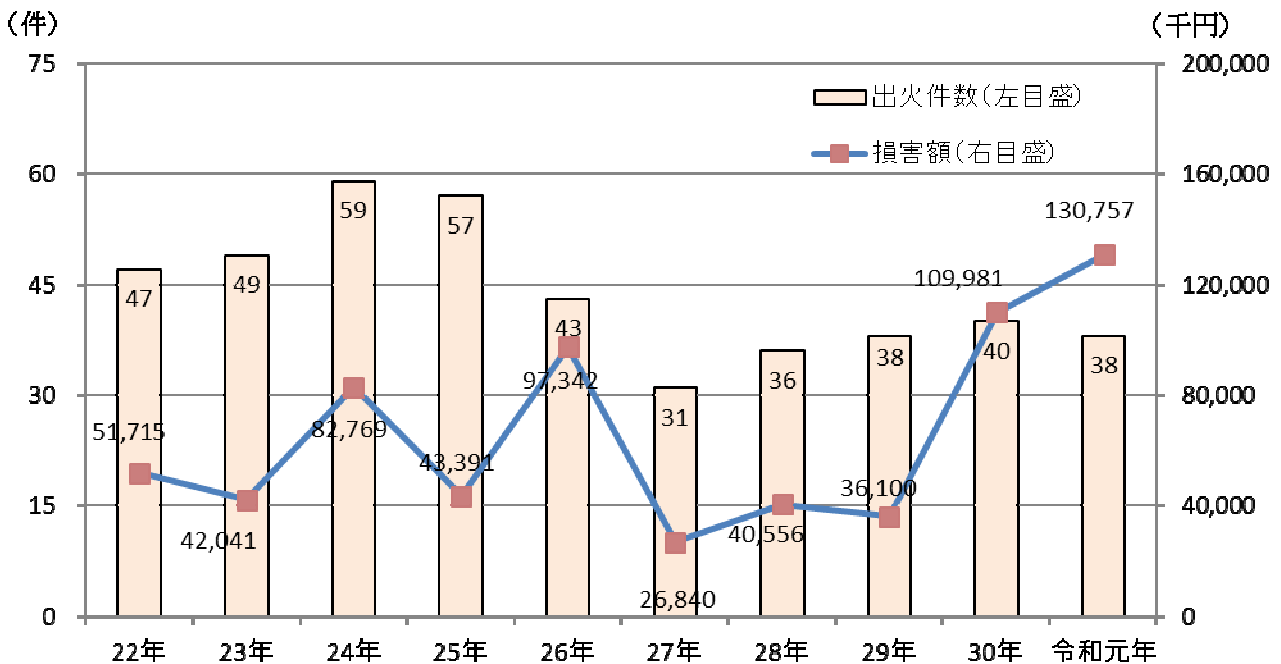
5 過去10年間の火災の推移

過去10年間の火災の状況をみますと、次表のとおりです。

年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数(人)		損 害 額 (千円)
	計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成22年	47	21	15	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成23年	49	21	10	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19	7	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
平成30年	40	14	8	1	5	20	800	19	2	4	109,981
令和元年	38	20	9	0	3	15	1,230	0	0	9	130,757

6 過去10年間の出火件数と損害額の推移

過去10年間の出火件数と損害額の状況をみますと、次表のとおりです。



救急

救急出動件数は 5,655 件、救急搬送人員は 5,335 人でした。

救急出動件数のうち、事故種別で見ますと、急病が 3,882 件 (68.6%)、一般負傷が 810 件 (14.3%)、交通事故が 380 件 (6.7%) となっており、一月平均は約 471 件、一日平均は約 15 件でした。

救急搬送人員のうち、死亡、重症及び中等症を合わせた傷病者の割合は全体の 40.9%、軽症の割合は 59.1% でした。

年齢区分別の搬送人員で見ますと、高齢者が 3,469 人で全体の 65.0% でした。

また、「急病」のうち高齢者の占める割合は 68.7% で、「一般負傷」での割合は 76.1% でした。

1 救急発生状況

全救急出動件数を月別にみますと、次表のとおりです。

区分 月別	計	(件)										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1 月	602	3	0	0	28	5	1	79	5	7	431	43
2 月	382	2	0	0	18	2	1	58	0	4	270	27
3 月	463	2	0	0	46	2	2	64	0	7	295	45
4 月	445	0	0	0	36	7	1	49	1	4	315	32
5 月	446	0	0	0	30	2	4	62	0	8	305	35
6 月	419	0	0	0	25	7	2	66	1	4	278	36
7 月	462	1	0	0	21	4	3	54	1	5	346	27
8 月	536	0	0	0	28	8	12	74	1	3	378	32
9 月	470	0	0	0	27	1	3	83	1	4	319	32
10 月	456	1	0	0	42	0	4	74	2	3	298	32
11 月	482	1	0	0	37	3	3	65	4	5	333	31
12 月	492	0	0	0	42	4	2	82	0	2	314	46
合計	5,655 (5,335)	10 (9)	0 (0)	0 (0)	380 (368)	45 (45)	38 (38)	810 (783)	16 (14)	56 (36)	3,882 (3,718)	418 (324)
平成 30 年	5,703 (5,402)	5 (6)	0 (0)	0 (0)	368 (365)	69 (67)	52 (52)	820 (800)	12 (12)	34 (19)	3,958 (3,781)	385 (300)

【備考】 () 内は、救急搬送人員を示す。

2 連区別救急搬送人員

全搬送人員を連区別にみますと、次表のとおりです。

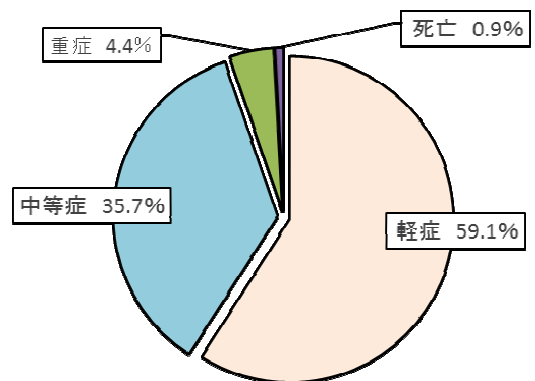
(人)

項目	急病	一般	交通	その他	計
道 泉	115	24	11	7	157
深 川	105	20	8	6	139
古瀬戸	126	24	17	1	168
東 明	82	23	12	3	120
祖母懐	110	23	7	13	153
陶 原	241	49	15	37	342
長 根	283	63	43	23	412
效 範	465	92	36	68	661
水 南	269	63	26	81	439
水 野	289	75	29	44	437
西 陵	175	47	13	14	249
原山台	152	17	6	13	188
萩山台	126	27	3	2	158
八幡台	163	31	6	1	201
品 野	93	31	15	18	157
下品野	225	35	9	13	282
山 口	204	44	32	49	329
本 地	156	19	38	17	230
菱 野	153	31	19	14	217
新 郷	167	40	17	26	250
管区外	19	5	6	16	46
合 計	3,718	783	368	466	5,335

3 傷病程度別搬送人員

全搬送人員を傷病程度別にみますと、次表のとおりです。

程 度 別	搬 送 人 員
死亡	46
重症(3週間以上入院)	233
中等症	1,904
軽症(入院なし)	3,152
合 計	5,335



4 年齢区分別搬送人員

全搬送人員を年齢区分別にみますと、次表のとおりです。

事故種別 年齢区分	(人)				
	急病	一般負傷	交通事故	その他	計
新生児 (構成比:%)	1 (0.0)	(0.0)	(0.0)	20 (4.3)	21 (0.4)
乳幼児 (構成比:%)	140 (3.8)	45 (5.7)	8 (2.2)	15 (3.2)	208 (3.9)
少年 (構成比:%)	113 (3.0)	30 (3.8)	52 (14.1)	38 (8.2)	233 (4.4)
成人 (構成比:%)	911 (24.5)	112 (14.3)	218 (59.2)	163 (35.0)	1,404 (26.3)
高齢者 (構成比:%)	2,553 (68.7)	596 (76.1)	90 (24.5)	230 (49.4)	3,469 (65.0)
合計 (構成比:%)	3,718 (100.0)	783 (100.0)	368 (100.0)	466 (100.0)	5,335 (100.0)

【備考】年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

※端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

5 救命率の推移

救命率の推移は、次表のとおりです。

区 分	(%)				
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
瀬戸市	40.0	16.7	16.7	40.0	40.0
愛知県	33.3	38.2	28.2	31.8	
全 国	24.8	25.1	24.1	25.1	

【備考】救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

令和元年中の愛知県・全国の「救命率」は令和2年1月現在未発表

6 バイスタンダーCPR実施状況

バイスタンダーCPRの実施状況は、次表のとおりです。

項 目	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年			
	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	
目撃	あり	51	36	70.6	44	28	63.6	51	22	43.1	57	31	54.4	55	29	52.7
	なし	87	61	70.1	78	51	65.4	85	59	69.4	69	48	69.6	86	48	55.8
合計	138	97	70.3	122	79	64.8	136	81	59.6	126	79	62.7	141	77	54.6	

【備考】バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

7 救急出動件数の推移

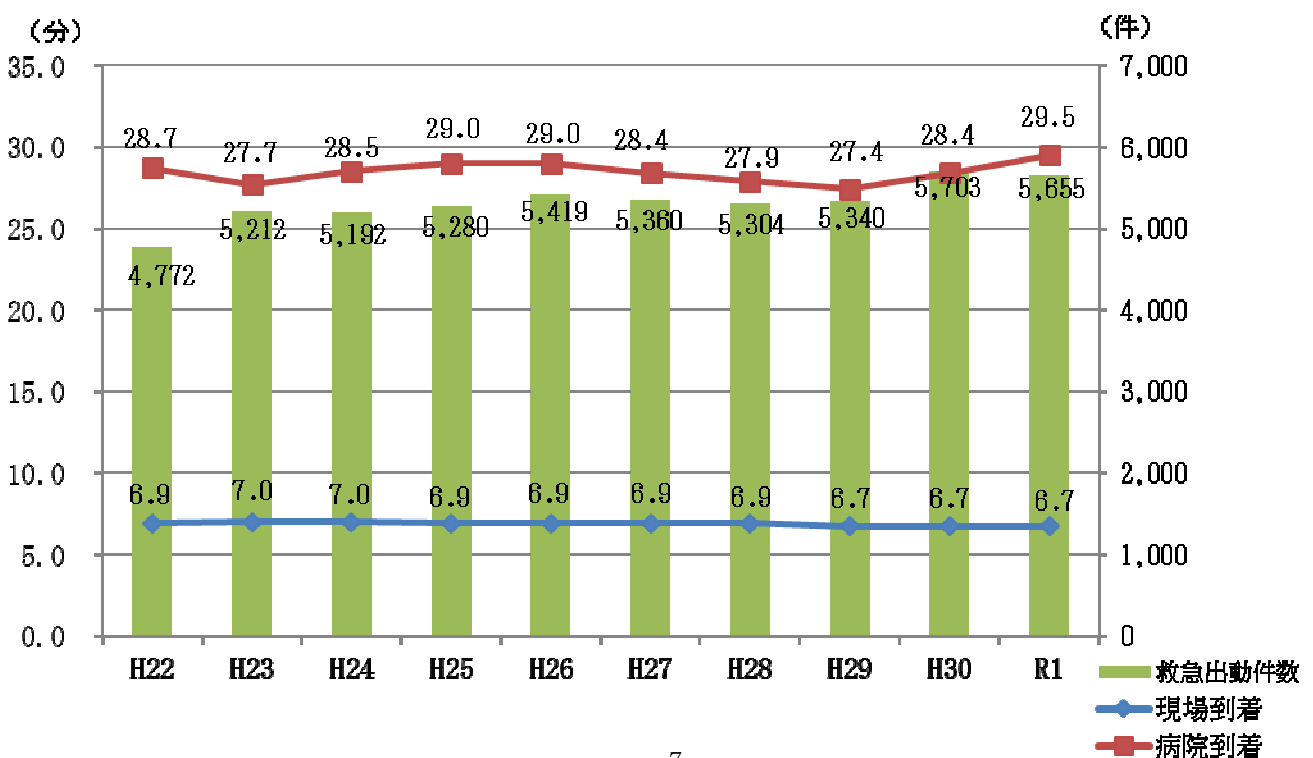
過去10年間の救急の出動状況をみますと、次表のとおりです。

区分 年別	計	増減率 (%)	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	(件) 他の消防本部から
平成22年	4,772	10.3	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348	12
平成23年	5,212	9.2	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371	17
平成24年	5,192	-0.4	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417	5
平成25年	5,280	1.7	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	-1.1	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	27
平成28年	5,304	-1.0	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310	23
平成29年	5,340	0.7	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316	10
平成30年	5,703	6.8	5	0	0	368	69	52	820	12	34	3,958	385	2
令和元年	5,655	-0.8	10	0	0	380	45	38	810	16	56	3,882	418	11

8 過去10年間の救急出動件数及び

現場・病院到着平均所要時間の推移

過去10年間の救急出動件数及び現場・病院到着状況をみますと、次表のとおりです。



救助

救助出動件数は 82 件でした。

このうち、救助活動を実施した件数は 47 件、救助人員は 35 人でした。

事故種別で見ますと、「建物等による事故」が 47 件（57.3%）、「交通事故」が 20 件（24.4%）、「その他の事故」が 13 件（15.9%）という状況でした。

救助出動の傾向としては、安否確認などの「建物等による事故」が多く発生しています。

1 救助発生状況

全救助件数を月別にみますと、次表のとおりです。

区分 月別	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 ガ ス 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
1月	6 (3)	0	2 (1)	0	0	0	3 (2)	0	0	1 (0)
2月	4 (2)	0	1 (0)	0	0	0	2 (1)	0	0	1 (1)
3月	9 (4)	0	2 (0)	0	0	1 (0)	5 (3)	0	0	1 (1)
4月	4 (3)	0	0	0	0	0	2 (2)	0	0	2 (1)
5月	4 (2)	0	0	0	0	0	4 (2)	0	0	0
6月	5 (2)	0	0	0	0	0	4 (2)	0	0	1 (0)
7月	4 (3)	0	2 (1)	0	0	0	2 (2)	0	0	0
8月	10 (6)	0	2 (1)	0	0	0	6 (4)	0	0	2 (1)
9月	4 (4)	0	1 (1)	0	0	0	3 (3)	0	0	0
10月	9 (5)	0	2 (1)	0	0	0	5 (3)	0	0	2 (1)
11月	11 (4)	0	7 (2)	0	0	0	3 (1)	0	0	1 (1)
12月	12 (9)	0	1 (1)	0	0	1 (1)	8 (5)	0	0	2 (2)
合計	82 (47)	0 (0)	20 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	47 (30)	0 (0)	0 (0)	13 (8)
救助人員	35	0	10	0	0	1	18	0	0	6
平成30年	80 (34)	1 (1)	12 (4)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	51 (21)	1 (1)	0 (0)	12 (5)
救助人員	33	1	4	1	0	1	19	1	0	6

【備考】（ ）内は、救助活動件数を示す。

2 連区別救助出動件数

全救助件数を連区別にみますと、次表のとおりです。

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	82	1	2	2	2	1	6	5	15	8	3	3	5	3	3	9	1	4	1	2	5	1

3 救助出動・活動件数の推移

過去10年間の救助出動・活動件数の状況をみますと、次表のとおりです。

年別	区分	計	火災	交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	よ建る物事等に	酸ガス及事故	破裂事故	その他の事故
平成22年		48 (17)	1 (1)	19 (4)	2 (0)	0	2 (1)	10 (5)	1 (1)	0	13 (5)
平成23年		62 (32)	1 (1)	22 (9)	2 (2)	0	8 (3)	16 (10)	0	0	13 (7)
平成24年		71 (41)	2 (2)	22 (10)	1 (0)	0	4 (2)	23 (14)	0	0	19 (13)
平成25年		67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0	11 (2)
平成26年		71 (29)	0	30 (8)	0	0	1 (1)	23 (10)	0	0	17 (10)
平成27年		72 (39)	1 (1)	20 (8)	0	0	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0	11 (6)
平成28年		54 (27)	1 (1)	17 (4)	0	0	1 (1)	25 (16)	0 (0)	0	10 (5)
平成29年		64 (26)	0	15 (4)	1 (1)	0	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0	15 (7)
平成30年		80 (35)	1 (1)	12 (4)	1 (1)	0	2 (1)	51 (21)	1 (1)	0	12 (6)
令和元年		82 (47)	0	20 (8)	0	0	2 (1)	47 (30)	0	0	13 (8)

【備考】()内は、救助活動件数を示す。

〔2019年度全国統一防火標語〕

ひとつずつ

いいね！で確認

火の用心



瀬戸市消防本部

令和元年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 消防課

発行 令和2年2月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101

TEL 0561-85-0479

FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ yobou@city.seto.lg.jp